



PRESS RELEASE

令和 6 年 10 月 23 日

メタバースで広がるサンの想い： 岡山大学とプロジェクトサンタが贈る新しい病院チャリティー

◆発表のポイント

- ・岡山大学と NPO 法人プロジェクトサンタ(以下プロジェクトサンタ)が連携し、メタバース¹⁾上でガチャガチャを楽しめる新プロジェクトを開始しました。
- ・病室を出られない患者さんもガチャガチャを楽しむことができます。
- ・中四国、九州地区において、初めてのプロジェクトサンタによる支援を行います。

岡山大学学術研究院医歯薬学域(医)医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢教授(整形外科)は、2023年よりメタバースを用いた革新的な患者支援活動を開始しています。この度、プロジェクトサンタと連携し、メタバース上でガチャガチャを楽しめる新たなプロジェクトを立ち上げました。プロジェクトサンタはこれまで、病院にガチャガチャを設置し、入院中の子どもたちに笑顔と希望を届けてきました。新プロジェクトでは、さらに多くの施設の患者さんに楽しんでもらえるよう、メタバースでのガチャガチャを試験的に開始します。これまで、ガチャガチャを通じて多くの患者さんに笑顔を届けてきましたが、治療中に免疫力が低下している時など、部屋から出られない患者さんでも、メタバース上で全国の患者さんにつながりながら、ガチャガチャを楽しめるようになります。

この取り組みは、プロジェクトサンタの「楽しく、優しく、わかりやすく」という理念と、岡山大学のメタバース活用のノウハウが融合した、新時代の病院チャリティーです。

◆研究者からのひとこと

このプロジェクトを通じて、入院中の患者さんたちに少しでも笑顔と楽しみを届けたいと考えています。全国の仲間とつながりながら、メタバース上でガチャガチャを引くことで、入院生活の中にありながらも、新たな喜びやワクワク感を感じてもらえたら嬉しいです。このメタバースガチャは、デジタル技術を活用した患者支援の新しい形といえます。ガチャガチャの本体やカプセルを必要としないことで、より多くの施設で実施できるうえ、病室から出られない状況下でも遊ぶことができます。

新しい取り組みであるため、まずは試験的に岡山大学のみで開始します。この試験期間中に得られた知見や患者さんからのフィードバックを慎重に分析し、効果と課題を明確にしたうえで、他施設への拡充を検討する予定です。この段階的なアプローチにより、より多くの患者さんにとって有益なサービスを提供できるよう努めます。



長谷井教授



PRESS RELEASE

■発表内容

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢教授は、長期入院中の患者さん同士をメタバースで交流させる活動を進めていますが、この度、病院へガチャガチャを設置する活動を行っているプロジェクトサンタと連携し、新たなプロジェクトを開始することとなりました。

ガチャガチャは単なる遊びや景品の提供以上の意味を持ちます。医療現場では、痛みを伴う処置や治療の際に患者さんの注意をそらし、不安や恐怖を軽減する「ディストラクション」という手法が用いられます。ガチャガチャはまさにこのディストラクションの役割を果たし、特に小児患者さんの治療へのモチベーション向上や心理的サポートに大きく貢献してきました。例えば、つらい治療の後のご褒美としてガチャガチャを回すことで、患者さんは前向きな気持ちで治療に臨むことができます。新プロジェクトでは、さらに多くの施設の患者さんに楽しんでもらえるよう、メタバースでのガチャガチャを開始します。この革新的な取り組みは、まず岡山大学で試験的に実施されます。この試験期間中に得られた知見や患者さんからのフィードバックを慎重に分析し、効果と課題を明確にしたうえで、他施設への拡充を検討する予定です。

これまで、病院内に設置されるガチャガチャは、本体やカプセルの経費、設置スペースの確保が必要になるうえ、病状や治療の制約からガチャガチャを回せない場合もありました。しかし、メタバースを利用することで、これらの課題を解決できます。スマホ、タブレット、VRゴーグルなどから気軽にアクセスできるため、病室からでも参加が可能です。身体的な制約を受けている患者さんも、デジタル空間で自由に活動でき、リアルなガチャガチャ体験を楽しめるようになります。このことにより、物理的な制約を超えてディストラクションの効果を提供し、より多くの患者さんの治療体験を向上させることが可能となります。

メタバース上のガチャガチャでは、5色の中からランダムにボールが出て、その色に応じた景品が手元に届きます。デジタル空間でのワクワク感が、実際のプレゼントとして現れるサプライズは、入院生活に新たな喜びをもたらします。また、物理的なカプセルや本体が不要になることで、環境負荷の軽減や経費の削減が可能となり、その分を景品の充実にも充てることもできます。

さらに、この取り組みは全国の患者さんをつなぐ架け橋となります。同じメタバース空間でガチャガチャを引くことで、遠く離れた場所にいる患者さん同士が共感し合い、交流を深めるきっかけになります。物理的なガチャガチャでは得られない、この「つながり」の価値は計り知れません。

プロジェクトサンタの「楽しく、優しく、わかりやすく」という理念と、私たちのメタバースを活用した患者交流の取り組みが融合し、新しいチャリティーの形が生まれました。物理的なガチャガチャでは得られない全国規模のつながりや、デバイス一つで参加できる手軽さは、メタバースならではの魅力です。私たちはこのプロジェクトを通じて、入院生活に新たな楽しみと希望を提供し、患者さんたちの心に寄り添いたいと考えています。



<社会的な意義>

メタバースガチャガチャは、病室から出られない患者さんにも新たな楽しみを提供し、入院生活の質を向上させる社会的意義があります。また、デジタル技術を活用した持続可能なチャリティー活動のモデルとして、医療分野における革新的な患者支援の形を提案します。

■研究資金

本研究は、「日本生命財団児童少年の健全育成 実践的研究助成」、「三菱財団 社会福祉事業・研究助成」、「2023年 タケダ・ウェルビーイング・プログラム」の支援を受けて実施されます。

■補足・用語説明

- 1) メタバース：インターネット上の3次元で構成された仮想空間

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域（医）
医療情報化診療支援技術開発講座
教授（特任） 長谷井 嬢
（電話番号）086-235-7273



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。